

# 2020年度ワングル焼森山ハイキング ～ミツマタの群生と山頂からの展望を満喫～

記録 行田 眞勝

◇期日 2020年3月19日（金）日帰り

◇天候 晴れ

◇参加者

宮田宏美、山下和正、木村 秩、小磯義昭、宍倉弘、佐久間 勤、守屋 哲、藤野 昇  
高橋龍巳、堀井信治、木村いよ子、島田美智子、行田眞勝 13名

（現地合流：宮田さん、守屋さん、堀井さん）

小磯さん、佐久間さん、島田さんの車に分乗して出発

◇行程

坂東3-クワ7:05～（R294号）～（R131号）コンビニ（7:53）8:08～鶏足山上赤沢駐車場（9:13）9:44  
～弛み峠（10:32）10:40～みつまた群生分岐10:45～焼森山・みつまた群生地分岐（10:58）11:05  
～焼森山雷神神社入口手前11:15～みつまた群生地（11:22～11:58散策）～  
みつまた広場（11:58）12:28～焼森山山頂（13:13）13:18～弛み峠（13:31）13:40  
～鶏足山上赤沢駐車場（14:16）14:35～ホロルの湯（15:00）16:35～坂東3-クワ18:35

◇記録

昨今、新型コロナウイルス感染が広がりイベント自粛が叫ばれているなか、安部首相が野外活動容認発言をしたこともあり、予定通り焼森山ハイキングが実施された。お彼岸中である3月19日、いつものように坂東ヨークタウンのイエローハット前に10名が集合した。今回は新潟松之山より、お彼岸で坂東市の実家に来ていた女将（以下島田さん）が集合場所からの合流となりました。

現地で宮田さん、守屋さん、堀井さんが合流予定だ。今日は日中の気温が20℃になる予報であったが、朝方は寒さを感じる。しかし絶好の登山日和である。いつも車を出して頂いている小磯さん・佐久間さん、それに現地でお別れする島田さんの車に分乗、道に詳しい佐久間さんの車を先頭に、7時5分ほぼ予定通り出発した。途中筑波山を見ると晴れているものの、薄ぼんやりと見える。国道294号から県道131号に入る角のコンビニで休憩し、各自不足している食糧を買い出しする。平日の通勤時間帯のために交通量は多いものの鶏足山上赤沢駐車場には約2時間の9時13分に到着した。

しかしミツマタの見頃であるためか、平日にもかかわらず駐車場は満車状態であり、やむを得ず路上駐車となってしまった。新型コロナウイルス騒ぎの中でも車での観光は賑わっているようだ。上赤沢駐車場で出発準備をしていると堀井さんが現れ無事に合流できた。宮田さん・守屋さんは別の駐車場に駐車したらしく途中での合流となるようだ。青空が広がり風もなく気持ちが良い気候のなか9時44分歩き始める。数分歩くと道が二手に分かれ、いきなりの急斜面と平坦な林道に分かれていた。どちらも同じ方向に行くが、足腰へのダメージを軽減するため躊躇なく左の林道を選んだ。結果的には足慣らしに丁度よかった。30分程歩いて行くと「鶏足山登山口ファミリーコース入口」の道標があった。身体も温まってきたのでここで着替え休憩とした。

数分休み10時14分歩き出す。ここから登山道の登り基調となる。いつものようにペース配分の上手な山下さんが先頭となり登り出す。途中藤井川の源流を通り数分の10時32分に左に焼森山・右に鶏足山の分岐である弛み峠に着く。ここは広く日差しも暖かいので小休止には良い所だ。雑談や腹ごしらえをしながら10分近く休み10時40分に歩き出す。弛み峠では道標がなく分かりにくい。鶏足山に登った経験のある幹事さんより「鶏足山に向かう途中に道標がある」とのこと。5分程行くと確かに「ミツマタ群生地」の道標があった。経験者の言うことには従うものですね。（＾＾）

道標から15分程の10時58分、左に焼森山・右に群生地に行く分岐へ出た。ここで小休止として各自エネルギーを補給する。焼森山へは登り、ミツマタ群生地へは下ることとなる。今回の計画では群生地に行ってから焼森山へ行くので、またこの場所に戻ってくることとなります。下ってまた登ってくる、なるほど「倍返し」ですね。でもさすがワングル部、誰も文句は言いません。やっぱりミツマタの見事な群生を見たい気持ちが強いですね。

11時5分群生地へ向かって下り始めてすぐ、ちらほら黄色い花をつけたミツマタの木が見え始めた。陽が当たっていると黄色が鮮やかに引き立つ。

これからミツマタの撮影タイムが始まる。10分程下った11時15分、焼森山雷神神社入口付近で宮田さん・守屋さんと合流できた。ここで全員が揃う。全員で更に下ると11時28分ミツマタ広場に出る。ここに遊歩道散策路があるが、関所があり「ミツマタ保存協力金」として各自200円を寄付する。

ミツマタはジンチョウゲ科のミツマタ属に属し、中国中南部ヒマラヤ地方が原産地とされる。三つ叉に分かれた枝の先に黄色い花を咲かせる。

皮は和紙や紙幣の原料として用いられるものらしい。遊歩道を行くと、ミツマタのトンネルになっており、黄色い花や香りを楽しみながら各自写真撮影



タイムとなった。記念写真を撮ったり、ミツマタの花や群生を撮ったりで忙しい。それだけ見事な状況だから…。来て良かったと思う。

ミツマタのトンネルを進み、橋を渡り反対側に行くとこれまた違う眺めだ。斜面一面にミツマタの木が群生しておりこれまた壮観な眺めだ。「ミツマタ群生地は戦時中、紙不足を危惧した地元の人が紙の原料として植えたのが始まりとされている。」1周634mあるという遊歩道を40分程かけてゆっくりと散策した。最後に全員で記念写真を撮る。ミツマタ広場に戻り、各自腹ごしらえをしながら大休止とした。腹ごしらえをしながら島田さんが持ってきた写真で盛り上がる。半世紀程前の、皆様の若かりし頃の写真で「この人誰？、あっ〇〇さんだ、あっ俺だ」とか。すみません記録係の私には殆どの人が誰だか分かりませんでした(^;)。写真で盛り上がり30分程休憩した12時28分、焼森山へ向かって出発した。ここで宮田さん・守屋さんとお別れ、藤野さんは一足先に駐車場へ向かう。来た道を今度は登って行く。途中の分岐を更に登っていくと、次第に獣道のようなあまり踏まれていない感じの登山道となる。登山道も急になり今日一番の踏ん張り所で、時折木の枝をかき分けながら登っていくと広場から30分程の13時5分に広い稜線に出た。ここで皆が揃うまで小休止となる。ここからは稜線歩きで焼森山423mには13時13分に登頂した。山頂は狭いが展望が良く筑波山方面も眺められる。5分程休憩した13時18分下山開始。ここからは明るく歩きやすい登山道となり、所々咲いているスミレの花を觀賞しながら下ると13時31分元来た池み峠に出る。ここから40分程下った14時16分に鶏足山上赤沢駐車場に到着した。駐車場で藤野さんが待っていてくれた。全員怪我もなく無事に下山した。車に戻ると、路上駐車のためか小磯さんの車に係員が貼ったのか「駐車禁止」の貼り紙があった。しかしここは駐車禁止区間ではないので違反切符は切られません。荷物を整理して14時35分出発、いつものように下山後の楽しみである温泉に向かう。今回は城里町のホロルの湯に立ち寄る。15時現地に到着ゆっくりと温泉に浸かり汗を流した後、各自思い思いに軽く食事をする。16時35分、ここで堀井さん・島田さんと別れ帰途についたが、島田さんは圏央道笠間西ICから新潟へと向かう。坂東ヨークタウンには2時間程の18時35分に到着した。今回好天の中、目的のミツマタ群生を満喫でき焼森山登山ホロルの湯と充実した一日でした。計画してくれた幹事さんありがとうございました。参加者の皆様お疲れ様でした。



斜面に咲くミツマタの群生



焼森山山頂からの眺望

